

第40回ふれあい広場社協会長あいさつ

社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会
会長 片桐計幸



みなさまこんにちは。

今年度から会長を務めております片桐でございます。

第40回ふれあい広場の開催まことにおめでとうございます。

さて、1981年から始まりました「ふれあい広場」。ハンディがある人もない人も、子どもからお年寄りまで、すべての人々が相互に交流できる機会を設けようということで始まったと伺っており、早いもので、今年で40回を数えるということでございます。

昨年度から大流行しております新型コロナウイルス感染症により、これまでどおり一堂に会する形での開催はむずかしい状況ではありますが、今回はシンボルツリーに参加団体のみなさまの心の声（「願い」、「希望」）をツリーに託しつなげて行くことになりましたということ聞いております。

人と人とのつながりが弱くなりつつある昨今、このようなふれあう場は、地域福祉の推進に欠かせぬ大切なものです。「継続は力なり」と申します。こうしたみなさまの息の長い活動は、時代とともに歩み、そして進む「地域共生社会」の実現に向けて大きな力となることは間違いありません。

今年度はこうした形で開催いたしますが、この「ふれあい広場」が、今後、さらに大きな交流の輪となり、市内全域で考える持続可能な事業として発展することをご祈念申し上げまして私のあいさつといたします。